

## 北海道(石狩)まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 07年10月6日(土) 報告者 労組名 札幌東急ストア労組 氏名 大磯 扶三彦

視察日 07年10月4日(木)

視察場所 夕張市

### 内容

JSD 本部の向園さんと夕張市の財政再建への課題を学習する夕張ドキュメンタリーツアーに参加し、再建に向けて銀行のテナント誘致等の努力を進めている市役所・三名の医師と19床のベットで運営されている医療センター・閉館に追い込まれ再開へ奮闘中の市民会館・夕張再生に手を上げた夕張リゾートが管理し再生に取り組んでいる石炭の歴史村、幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば等を視察しました。

### 『まちづくりフォトアルバム』



再生へ取り組み中の石炭の歴史村



展示物の劣化等の原因により現在は閉館している歴史村内のロボット館



三名の医師が奮闘中の医療センター



映画祭のメイン会場でもあり再開へ奮闘中の市民会館

### まとめ・感想

部外者の私とやかく申し上げられる立場ではないが、人口が13,000人を割り込む状況にあり、大規模な雇用を生み出す産業もなく、再生への道りは想像以上に険しいと感じました。しかし、そのような環境にあっても夕張が好きで夕張をどうにかして再生しようと考えている志の高い方が大勢いらっしゃる事が理解でき感動しました。彼らの奮闘により険しい道りを乗り越えていただきたいと思いました。

また、あらためて石炭が取れなくなったからではなく、まだまだ多くの貴重に資源である石炭が山に残っているにも関わらず、外国産の石炭に価格で競争できずに閉山に追い込まれた経緯を思い返すことにより、ただだもったいないと感じました。最近では農業も同じ様な状況に直面しておりエネルギーや食物自給率が低い日本の状況を考えると価格や利便性を追求しすぎる現在の考え方だけでは将来に付けが回るだけなのではと強く感じました。